

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・基礎的な調理器具の使い方を身に付けるために、実習の前に児童一人一人が実際に器具を触りながら使い方を学習することで、実習時は安全に正しい方法で取り扱うことができた。
- ・毎時間のめあてを設定し、手順を確認することで時間配分を考えながら作業を進めることができた。スモールステップで繰り返し指導することで、知識や技能の定着を図ることができた。
- ・長期休業を活用し、家族の一員として自分のできる家庭の仕事内容を考えることができた。既習事項を実践に生かす機会を設けることができた。

(2) 課題

- ・生活の中での自分の課題について考えるときは、生活経験の乏しさから、よりよい快適な生活について、想像しにくいことがあった。身近な事例を提示することや、実際に不便さや不快さを感じさせることで、より想像しやすい工夫をする必要がある。
- ・製作活動については、個人差が大きいため、個別指導を取り入れる必要がある。
- ・安全指導の徹底を図り、落ち着いた環境で安全に学習活動に取り組めるようにする。

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的な調理器具の使い方や裁縫道具の扱い方について、引き続き、個別に指導できるようにする。 ・技能面では、スモールステップで繰り返し取り組ませることで、自身の課題を理解し、解決に向けて学習に取り組めるようにする。	・実際の自分の生活を振り返り、日常生活の中から問題を見いだすことで、自分に合った様々な解決方法を考え、課題を設定する。 ・家族の一員として、掃除や買い物などの家庭の仕事の計画を考え、工夫しながら取り組めるようにする。	・自分の課題解決に向けて学習に取り組み、実際の生活に生かせるようにする。 ・家族の一員として、自分のできる家庭の仕事内容を考え、取り組ませる。また、学校と家庭で連携を図りながら学習内容に継続して取り組めるようにする。